時事新報

黒幕の運命

黒幕云々とは近年來政治社會に行はるゝ一種の奇語にして蓋し三四の老政客が其身は既に當局の地位を去りながら後進の間に政府との關係を保ち恰も蔭に居て之を左右する其有樣に彼の人形遣ひが黒幕の内に在りて人形を操縦使用するものゝ如しとの意味よりして斯語を下したるものならん其用語の當不當は姑く擱き兎に角に我政治社會に之と類似の地位に居るものあるは衆目の觀る所にして疑ふ可らざるの事實なれば我輩も假に其語を用ひて此一類の人を黒幕の老政客と稱し扨その黒幕の運命に就て一言せんに抑も當局の政客が老蒼疾病又は他の事故の爲めに其地位に居るに堪へずして政海を辭し去るは珍らしからぬ沙汰にして何も怪しむに足らざる事なれども今の老政客の人々は心身尚ほ屈强にして又特に其身に事故の止むを得ざるものあるに非ざるに兎角進退の局に當るを厭ふて閑散の地位に居り左ればとて敢て政治の緣を絶ちたるにも非ずして陰陽表裏の間に勢力を維持せんとするが如きは一種の奇觀にして何人も怪しまざるものはある可らず蓋し其本人と雖も實際には之を以て得意と爲すに非ず今の政府は所謂情實政府にして部内の事情は外より想像するみと能はざる程のものあるが故に不本意ながらも一種奇態の地位を占むるみとならんなれども其内情は兎も角もとして若しも其人が今日の如くにして進むにも非ず退くにも非ずして不可思議の間に躊躇するときは遂には前途の運命も如何ある可きやと我輩は餘所ながら竊に其成行を危ぶむものなり凡そ政治上の勢力は實權の在る所に歸するものにして影あれば髣髴に形なきを得ず今日老政客の輩が黒幕の地位を占むる所以は畢竟その地位に伴ふ所の實權を有するが爲めに外ならずと雖も扨その實權とは如何なるものなりやと云ふに其人々は表面に於て職務上の權あるに非ざれども維新以來の地位經歷もあり且は從來の關係も淺からざるより今の所謂第二流なる當局者の推尊を一方ならず政治上重要の事柄に就ては自家の職權を外にして其相談を待つの事情なるが故に老政客の方に於ても亦情誼の上よりして相談に應ずるみとなる可し即ち黒幕の實權は情誼の間に存して其尤美なるが如くなれども此種の關係は決して永續す可きものに非ず或は當局者の心に於て其何處までも之を先輩として推尊するの精神なるやも知る可らずと雖も政海の風潮は朝々暮々に變化するのみならず時としては其潮勢非常に急にして其急に應ぜんとするには間、髮を容れざるの機會もあるみとなれば實際に於ては必ずしも其精神の通りに往かざる場合も多かる可し例へば對議會の政略の如き今後まゝ〳〵繁雜を極め隨て迅速の決斷を要するに至れば一々輩輩との相談を待つ能はざるは無論、或は時としては其意に反するの決斷もなき能はず如何となれば假令ひ其利害は同一にても既に責任無責任の別あるときは其見る所に自から相違の差あるを免れざればなり黒幕と第二流當局者との關係は右の如くにして所謂情誼上より出でたる實權の動むに足らざるは勿論なれども老政客の身に取りて更に大に掛念す可きは政府部内に於ける後進政客の進歩にして此一事は其輩力の消長に關係するみと甚だ大なるものあるを知らざる可らず是迄の處にては部内に於ける少壯の政客輩は老政客の意向を聽したる因緣もあるが故に甘んじて其指揮に隨ふのみならず時としては隱然その勢力を利用して今の當局者に重きを置かしむるなどの内情もありしならんなれども元來その輩の目的は政治上の功名に外ならざるが故に老客の暴動今日の如くにして其進退とかく曖昧なるときは何時迄で其後に從ふも遂に目的を達するの期なきを悟り寧ろ權權の命ずる所に由り現在の當局者を助けて大に爲すみとわらんとて次第に身輕を變ずるにも至る可し人情の自然にして決して怪しむに足らざれども老政客の爲めには恰も手足を失ふと同樣の次第にして最早や如何ともす可らず如何となれば本來黒幕の勢力なるものは部内に於ける後進政客の周旋奔走その多きに居ればなり以上の推論に由りて判斷すれば黒幕の前途は甚だ憂み少なきものにして若しも此儘にて經過するときは如何ある變命に陥るやも知る可らずと我輩の竊に危ぶむ所なり近日は内閣の更迭談に關し黒幕の會合も頻ひに行はるゝ由なれども其内情は未だ詳かならざるが故に今更喋々せざれども唯その運命の甚だ緊束なきを見て聊か一言を試みるのみ

官報

○農商務省訓令第二十二號（昨日の續き）

第二十六條　臺秤及臺アル桿秤ヲ檢査スルコハ臺秤ヲ平坦ナル位地ニ南北ニ置キ其上ニ錘ヲ載セ次左ノ三段ノ手數ヲ行フヘシ

一　錘ヲ直線ニ置ケ桿ヲ桿臺ノ中央ニ置キ其ノ之ニ從ヒ桿ノ上下一致ナルトキ又ハ一樣ナラサルトキハ其ノ之ニ從ヒ桿ノ正ニ水平ナル位置ニ置キ若シ桿ノ水平ナルトキハ其ノ目盛ニ對シテ其